

様式第1

計量士資格認定申請に係る実務の証明書

1 申請者

(ふりがな) けい りょう た ろう  
氏 名 計 量 太 郎  
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日

2 従事した事業所等

所 在 地 広島県広島市〇〇町〇〇1-2-3  
勤 務 先 名 〇〇〇〇株式会社  
事業登録等<sup>注1</sup> 計量証明事業登録(質量)第〇〇号

3 実務期間

①計量に関する実務期間合計 12年9ヶ月 (ただし、計量教習期間を除く)  
平成 9年 5月 1日 ~ 平成12年 3月31日(2年11ヶ月)  
平成12年11月15日 ~ 平成23年 2月25日(10年3ヶ月)

②①のうち質量計に関する実務期間<sup>注2</sup> 2年6ヶ月(ただし計量教習期間を除く)  
平成 9年 5月 1日 ~ 平成12年 3月31日(2年11ヶ月)

4 実務内容

該当基準 <sup>注3</sup>	実 務 の 内 容	従事期間
計量器の製造又は 修理の実務 別表第二第三項	質量計の修理及び校正の実務に従事 ① はかり(非自動はかり,トラックスケール)の性能・精度の確認 ② はかり修理(ロードセル等部品の交換)	平成 9年 5月 1日 ~ 平成12年3月31日 (2年6ヶ月) ※計量教習期間除く
計量器の製造又は 修理の実務 別表第二第三項	燃料油メーター及び液化石油ガスメーター の設計及び製造の実務に従事	平成12年11月15日 ~ 平成23年 2月25日 (10年3ヶ月)

以上のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

事業所の住所及び名称

事業所長氏名



注1

<環境計量士で申請する場合>

計量証明事業の登録区分（濃度，音圧レベル，振動加速度レベル等）を記入する。

<一般計量士で申請する場合>

- 1.適正計量管理事業所の指定を受けている場合は，「適正計量管理事業所」と記入する。
- 2.計量証明事業の場合は，登録区分（質量，長さ，体積，熱量等）を記入する。
- 3.上記1，2に該当しない場合は，記載しない。

注2

質量計に関する実務期間については，申請区分が一般計量士の場合のみで良い。  
環境計量士で申請の場合は，当該項目を削除することができる。

注3

該当基準については下表のとおり，別表番号と該当する項目番号，基準の内容を記載する。

○別表第一（環境計量士に関する基準）

第一項 検定，基準器検査，計量証明検査，立入検査

第二項 イ 計量管理の実務，計量管理の指導の実務

ロ 同上

ハ 計量士の補助者としての実務

第三項 計量器の製造又は修理の実務

○別表第二（一般計量士に関する基準）

第一項 検定，基準器検査，計量証明検査，立入検査

第二項 イ 計量管理の実務，計量管理の指導の実務

ロ 同上

ハ 計量士の補助者としての実務

第三項 計量器の製造又は修理の実務